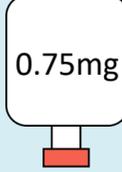
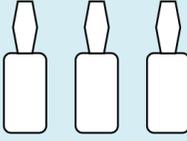


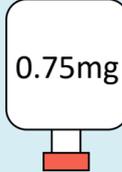
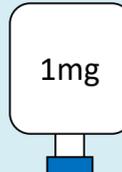
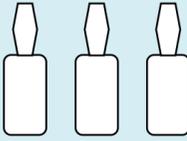
抗がん薬制吐療法一覧（催吐性リスク別）

- 日本癌治療学会 制吐療法診療ガイドラインに準拠しています。
- 使用する抗がん薬（レジメン）の催吐性リスクに応じて適切な制吐療法が選択されますが、患者さん毎に調節を行ったり、その他の薬剤を組み合わせたりする場合があります。

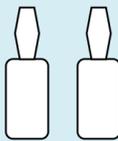
①高度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

	1	2	3	4	(day)
アロカリス注					
アロキシ 点滴静注バッグ					
デキサート注					
デカドロン錠					
オランザピン錠					

②中等度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

	1	2	3	4	(day)
アロキシ 点滴静注バッグ					
もしくは グラニセトロン 点滴静注バッグ					
デキサート注					
デカドロン錠					

③軽度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

	1	2	3	4	(day)
デキサート注					

④最小度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

※一般に予防的な制吐薬は不要